

●編集顧問／牧野永城、菅原克彦、阿部令彦、出月康夫、武藤輝一、田島知郎、萩原 優、北島政樹、炭山嘉伸、跡見 裕

●編集委員／畠山勝義、桑野博行、宮崎 勝、島津元秀、渡邊聡明、瀬戸泰之

●編集同人／佐野圭司、近藤芳夫、阪口周吉、鈴木章夫、秋山 洋、塩谷信幸、諏訪邦夫、岡崎春雄、松元輝夫、折田薫三、細田泰之

この欄でのトキ（朱鷺：学名は *Nipponia nippon*）の紹介は6回目となる。1回目は佐渡市におけるトキの人工繁殖、2回目は野生復帰のための訓練、3回目は1次放鳥（10羽）、4回目は2次放鳥（19羽）、5回目は1次および2次放鳥で本州に飛来したトキ、について紹介してきた。今回は1次放鳥（2008年9月25日）および2次放鳥（2009年9月25日）からちょうど2年と1年が経過したので（10月1日現在）、その後を報告する。

1次および2次放鳥を合わせると計29羽のうち、2010年9月22日現在17羽（58.6%）が継続的に確認されており、4羽（13.7%）が未確認となっている。半年以上未確認の行方不明扱いのトキは5羽（17.2%）、1年以上未確認を含む死亡扱いのトキは3羽（10.3%）となっている。これら生存しているトキのうち、今春の繁殖期には6組のペアができ、このうち5組が産卵したが、残念ながらいずれも孵化には至らなかった。現在、佐渡島内では放鳥地周辺の新穂・両津エリアで2次放鳥のトキを中心に12羽が群れを形成して行動しており、最大では14羽の群れが確認されたこともあったという。また羽茂エリアには2羽、相川エリアでは1羽が確認されている。一方、本州に渡ってきて住み着いているトキが2羽で、新潟市西蒲区に1羽と富山県黒部市に1羽が確認されている。これら本州に飛来してきた2羽のトキは、現在でも単独で行動しており、ペアを形成するチャンスはほとんど皆無なので、心配な面が多い。

環境省「トキ野生復帰専門家会合」は、3次放鳥は2010年11月1日に14羽を予定しており、来年の2011年は春と秋の2回にわたり、それぞれ20羽ずつを放鳥する予定と発表している。この3次放鳥から、野生復帰に向けた訓練をしている順化ケージから直接トキを放つ予定である。順化ケージからの放鳥なので、ストレスを与えないで済むし、落ち着いた環境で放すことでさらに群れの形成につながる事が期待されている。今年の3月には、この訓練施設である順化ケージ内で訓練されていたトキがテンに襲われ9羽が死亡したという悲しいニュースがあったが、その障害を乗り越えての放鳥であり、来年の春には野外で初めて放鳥トキによる子育てが見られることが大きく期待されている。

（畠山勝義）

臨床外科（第65巻第13号）

発行 株式会社 医学書院  
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23  
☎ 社内案内 (03) 3817-5600  
販売部直通 (03) 3817-5659・5660  
振替口座 00170-9-96693 番

2010年12月20日発行（毎月1回20日発行）

定価 2,730 円（本体 2,600 円＋税 5%）

2010 年年ぎめ予約購読料 40,160 円  
電子ジャーナル閲覧オプション付 52,200 円  
増刊号を含む13冊、税込、送料小社負担

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5708  
ファクシミリ (03) 3815-7802  
E-mail: ringe@igaku-shoin.co.jp

担当 田村・川村・安部  
印刷所 三報社印刷㈱ 電話 (03) 3637-0005  
広告申込所 日本医学広告社 電話 (03) 5226-2791

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- **JCOPY** 〈(株)出版者著作権管理機構 委託出版物〉  
本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- 「臨床外科」ホームページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/ringe/> です。